

ンティアサービス継続が重要です。そのことから、防犯・交通安全等の強化、生活利便性の向上、地域社会の連帯を強化する必要があります。

【介護予防と寝たきりの減少】
介護の面からまると、生活機能評価の認識度が低いことと、介護が必要になる不安、また介護給付費の増大傾向が認められます。そのことから、生活機能の向上と介護の重度化を抑止する必要があります。

【生活問題へ総合的に対応】
生活様式の多様化によって、高齢者の生活環境・経済状況などさまざまな問題が発生し、相談窓口も複雑化していることから、総合的な対応が必要となります。

以上、5つの課題解決のための基本方針は、

【健康の維持・増進】
「新たな保健制度の浸透」、「地域医療の充実と介護との連携」

【いきいき社会の形成】
「高齢者の活躍機会の拡大」、「ふれあいと喜びの場の提供」

【暮らしに安心の確保】
「安全な生活環境の確保」、「生活支援の充実」、「福祉コミュニティの拡充」

【介護予防と寝たきりの減少】
「介護予防の強化」、「効果的なサービス利用の促進」

【生活問題へ総合的に対応】
「安心ネットワークの形成」とします。以上が、高齢者保健福祉計画改訂の課題と基本方針です。

「パブリック・コメント手続」を実施します！

高齢者保健福祉計画を改訂するため 皆さんの意見をお寄せください

本誌4月号でお知らせしたとおり、「寄居町高齢者保健福祉計画」の改訂について、パブリック・コメント手続を実施します。高齢者実態調査の結果や高齢者保健福祉計画改訂の基本方針について、ご意見をお寄せください。特に基本方針に即した具体的な事業の提案をお待ちしています。

【パブリック・コメントとは？】

町の重要な施策に対し、事前に施策等の案を公表し、町民の皆さんからのご意見を考慮して、町が決定するもので、町民の町政参加とまちづくりの協働を目的とした制度です。

【手続方法】

- 1 募集期間 11月20日（木）～12月19日（金）
- 2 資料の公表

高齢者保健福祉計画に関する高齢者実態調査結果・高齢者保健福祉計画の基本方針などの資料については、次の窓口で閲覧できます。

健康福祉課・町立図書館・保健福祉総合センター（ユウネス）・老人福祉センター（かわせみ荘）・用土連絡所・男衾連絡所

また、町公式ホームページでもご覧になれます。

※閲覧期間 11月17日（月）～12月19日（金） なお、閲覧できる日時は、各窓口の業務日時になります。

※資料に関する質問は、健康福祉課のみで受け付けます。

3 意見の提出方法

書式は自由ですが、住所、氏名、連絡先を必ずご記入ください。

【郵送】 〒369-1292 健康福祉課宛 【ファックス】 581-9160 【窓口への提出】 健康福祉課および閲覧場所（各窓口の業務時間をお願いします） 【電子メール】 kenfuku@town.yorii.saitama.jp

4 注意事項

●意見を提出できる方は、町内在住・在勤・在学の方、もしくは町内に事業所がある個人・法人、その他の団体です。●電話や窓口での口頭によるご意見は、お受けできません。●ご意見への個別の回答は行いません。●公序良俗に反するもの、特定の団体・個人等に対する誹謗中傷が含まれるものは無効とします。

※寄せられたご意見の概要は、個人情報に関するものを除き平成21年3月に公表します。

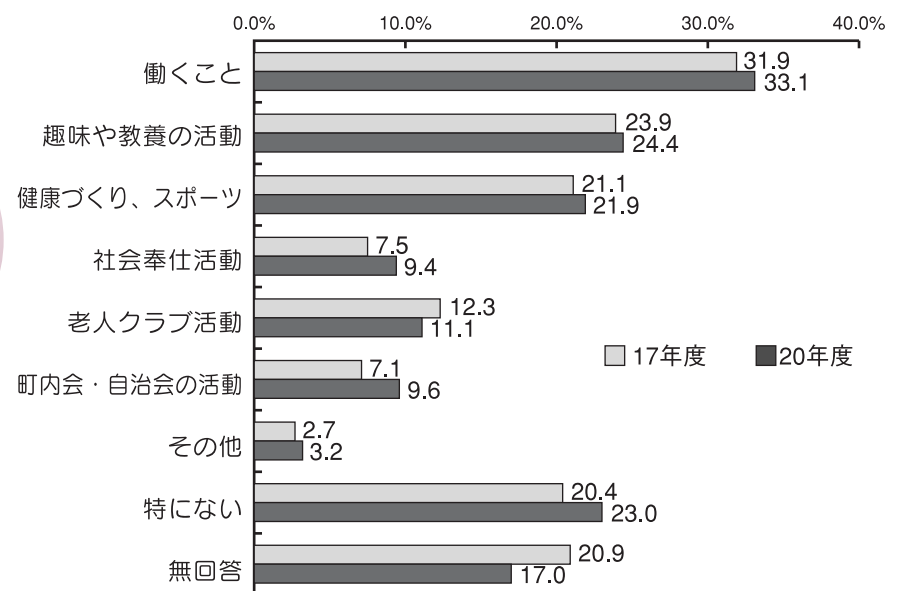
◆高齢者の「ヒヤリ」・「ハット」体験は 自動車の運転中

事故に至らないまでも、「ヒヤリ」としたり、「ハット」した経験は、交通手段別で見た場合、自動車の運転中が最も多く、70・2％になっています。また、自転車で約60％、歩行中でも約50％の割合となっており、これは誰もが加害者にも被害者にもなりうる状況を示しています。

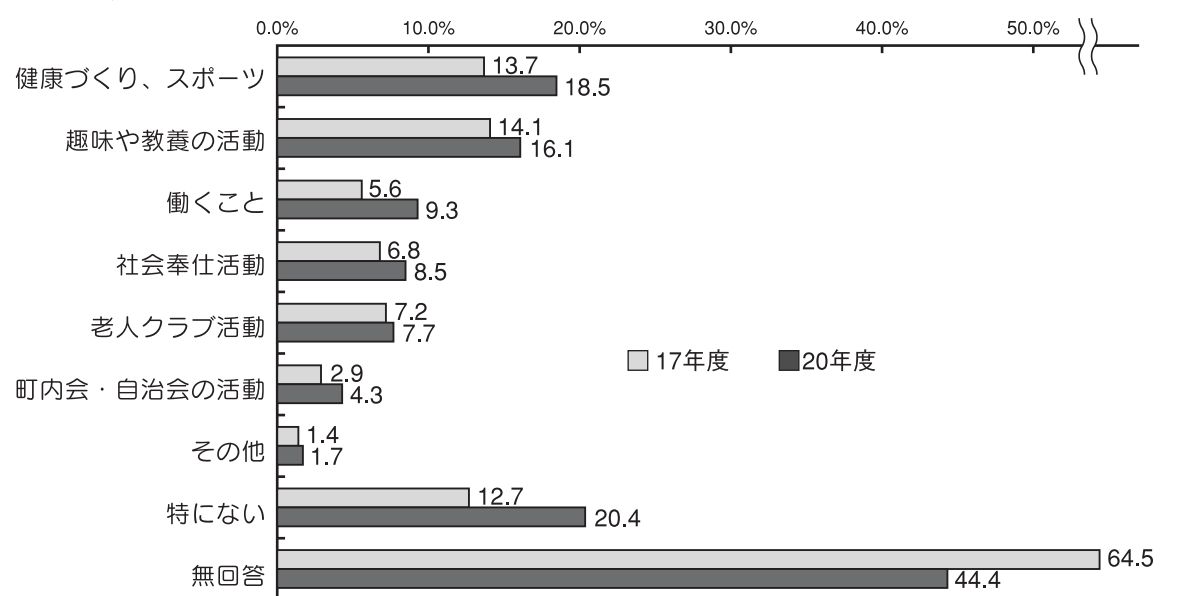
◆足の確保に対する 要望が最多

今回の実態調査では、具体的な要望を把握するため、自由意見も伺いました。その結果、311件の意見が寄せられました。この中で最も多かったのが生活環境で97件、次いで行政運営が56件、医療が36件などとなっています。

グラフ5 社会参加の状況（経年比較）



グラフ6 今後の社会参加意向（経年比較）



◆計画の課題と基本方針

高齢者生活実態調査の結果および各関係諸機関の資料から、高齢者を取り巻く現状が把握されましたので、これらの状況を踏まえながら「心身ともに豊かに暮らせるまちづくり」を実現するための課題を次の5つに整理しました。

【健康の維持・増進】

保健・医療の面からまると、不安の要素に「病気がち」、「病気になったとき」とあり、また1人あたりの医療費増加の傾向が認められます。そのことから、健康寿命を延伸し、傷病の場合は早期治療と回復を目指す必要があります。

【いきいき社会の形成】

社会参加の面からまると、参加意向の上昇とともに「特にない」の割合も上昇し、友人がいない割合も増加しています。そのことから、社会参加ニーズへの多種多様な対応や地域での孤立を防ぐ必要があります。

【暮らしに安心の確保】

福祉・生活環境の面からまると、悪徳商法の蔓延や交通事故、町への要望では交通手段の確保、各種福祉ボラ

高齢者保健 福祉計画改訂の 基本方針